

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年8月22日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年8月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【既設多核種除去設備(C)吸着塔からの溢水について】 既設多核種除去設備(C)吸着塔への水張り作業中に吸着塔上部から溢水。 吸着塔の水張り弁を閉とし溢水は停止。水は堰内に留まっており建屋外への流出なし。 水張り体制等の見直しを実施する。	GⅢ
2	【既設多核種除去設備(C)処理タンク入口弁の漏えいについて】 既設多核種除去設備(C)処理タンク入口弁のシート漏えい※を確認。 入口(仕切り)弁を閉とし漏えいは停止。なお、既設多核種処理設備(C)の運転は可能。 ※シート漏えい: 弁内部の隙間から配管内部に漏えいすること。	GⅢ